

令和3年度 事業報告

人口減少、超高齢社会にあつて、今後、ますます現役世代の減少が見込まれ、地域の活力を維持していくためには、働く意欲のある高齢者のみなさんが、年齢にかかわらず能力や経験を生かした生涯現役で活躍し続ける環境づくりが重要となっています。

このような状況の下、茅野広域シルバー人材センターでは、会員に働く機会を確保・提供し、生きがいの充実、健康の維持・増進を図るほか、会員が就業等を通じて、地域の担い手や現役世代の支え手としても活躍しており、当センターに向けられる期待は一層大きなものとなっています。

令和3年度は、第2期中期計画の初年度であり中期計画に掲げた目標に向かって、シルバー人材センターの基幹である会員拡大と就業拡大に取り組み、新たな事業展開として新しい総合事業訪問型サービスAを開始し、女性会員の就業拡大を図ってまいりました。

また、会員が経験や技能を生かし、地域社会で活躍する場としての魅力あるセンターの実現を目指し、「事務局体制の強化」と「組織の活性化と会員資質の向上」を最重点課題として会員一体となって事業の推進に努めてまいりました。

しかし、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響により雇用情勢をはじめ社会経済活動に大きな打撃を受けるなど当センターを取り巻く環境が大きく変化する中で、会議や行事が中止となり会員同士のコミュニケーション不足により、組織の活性化が鈍化することになりました。

また、当センターにおいても新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、契約金額が大きく減少した前年度とほぼ同額となりました。

令和3年度の業務実績を見ると、請負の契約金額は、約2億9千1百万円で前年度より約4百60万円の減となりました。また、派遣の契約金額では、約4千4百万円で前年を約4百60万円増となり、請負と派遣の合計金額では、約3億3千万5百万円となりました。

安全就業につきましては、「事故ゼロ」を重点目標の第一に掲げて取り組んでまいりました。今年度は6件の事故が発生し、前年度の11件から大きく減少することができましたが、重傷事故が発生し残念な結果となりました。事故防止につきましては、機会あるごとに会員の皆様方に取り組みの周知を図り、安全意識の向上に努め、事故ゼロを目指してきましたが、今後さらに会員一人ひとりがもう一度安全に対する心構えをしっかりと持ち、意識して就業していただくことが必要です。

また、会員拡大につきましては、第2期中期計画に掲げる目標会員数に向けて、「一人一会員入会活動（ともだち作戦）」の取り組みを進めてまいりました。今年度末の会員数は635人となり、前年度末の会員数から11人減少することになりました。

以下、令和3年度の主な事業を報告いたします。

主な業務実績

* 事業受注件数	請負	2, 297件	前年比 ▲	238件
	派遣	28件	前年比 +	5件
* 契約金額	請負	291, 405千円	前年比 ▲	1. 5%
	派遣	44, 204千円	前年比 +	11. 9%
* 会員数 (3月31日現在)		635人	前年比 ▲	11人

主な事業報告

○総会

令和3年度定時総会を5月31日(月)、ゆいわーく茅野で開催しました。
出席者27名、委任状479名、合計479名

- 1) 令和2年度事業報告の承認について
- 2) 令和2年度決算の承認について
監査報告
- 3) 役員を選任について
- 4) 定款の一部改正について
以上が提案され、全て原案どおり承認されました。
報告事項は次のとおりです。
- 4) 補正予算の報告について
- 5) 令和3年度事業計画の報告について
- 6) 令和3年度収支予算の報告について

○理事会

令和3年度は6回の理事会を開催しました。事業等の実施状況報告、正会員の入会承認、適正就業と会員確保、シルバー派遣事業への対応等、センターの運営全般の基本的事項に関することなどを審議、協議いたしました。

○監査会

令和3年10月に4月から9月までの上半期の監査をして頂きました。また、令和4年4月には定時総会に提案する令和3年度事業報告、決算について監査して頂き、適正な執行であると認められました。また、理事会に出席し、事業執行について意見を述べていただきました。

○専門委員会事業報告

1. 総務委員会

新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業の縮小や中止を余儀なくされました。定時総会は、感染予防のため委任状での議決権行使をお願いし、参加者27名、委任状479名と参加者を絞って開催いたしました。

(1) 組織市町村首長との懇談会

- ・11月に茅野市・富士見町・原村において市町村長との懇談会を実施し、助成金の継続と従来同様に各種事業や要望に対しご配慮をいただくと共に、適格請求書等保存方式（インボイス制度）が令和5年10月に予定通り導入された場合のシルバーへの影響について理解いただくと共に支援をお願いしました。

(2) 地域班活動の活性化に向けた取組み

- ・12月に地域班長会議（班長47名）を開催し、組織体制、中間事業報告、運営状況、直面する課題およびインボイス制度について理解を深めました。
- ・中間事業報告は地域班長を通じ、各会員に配布しました。
- ・地域班独自の活動は、感染症拡大予防のため実施できませんでした。

(3) 生涯現役に向けた研修会等の実施

- ・健康づくりに向け、「からだの衰え度チェック」「ストレッチ講習会」を外部団体の協力を得て実施し、多数の継続実施要望をいただきました。
からだの衰え度チェック（6月）・・・参加者 34名
ストレッチ講習会（11月）・・・参加者 34名
- ・健康づくりに適した運動施設4カ所を、山麓だよりを通じて紹介しました。
『交通安全イベント』を茅野警察署の協力を得て実施し、サポートカーや交通安全教育車（チャレンジ号）等の体験を通じ、交通安全に対する認識を高めました。
交通安全イベント（9月）・・・参加者 45名

(4) シルバーショップつどいと連携活動

- ・感染症の影響により活動の縮小を余儀なくされましたが、リメイク、こけ玉・人形づくり等を女性会員が中心になって実施しました。
- ・シルバーショップつどいは、コロナ禍による事業縮小、後継者不足等により運営継続が困難となり、令和4年3月末をもって閉鎖いたしました。

2. 就業委員会

コロナウィルス感染症第6波影響により、下記事業内容を中止しました。

- ・就業モラル、マナー、職群別技術向上専門講習会
- ・女性会員拡大に向けた座談会（ワイガヤ活動）

(1) 会員増強への取組み

- ・令和3年度会員目標数（743名）⇒ 実績会員数（635名） 未達成
入会者数 76名
退会者数 87名
- ・入会説明会資料見直しによる内容充実及び説明時間短縮を図りました。
- ・広報案内に加え、公共施設へのパンフレット定期配布と2箇所の設置場所増設、回覧板方式導入（1箇所）等、コロナ禍における最大限のPR活動を行いました。
- ・お友達作戦（会員1人が1人に声掛け）は、実施期間を当初6～9月予定としましたが、11月まで期間延長し取り組みました。（お友達による入会者5名）
- ・女性会員拡大に向けた座談会は感染拡大防止のため、未実施となりました。

(2) 会員安全就業と資質向上への取組み

- ・コロナ禍における感染拡大防止のため、就業モラル、マナー、職群別技術向上専門講習会等を実施することが出来ませんでした。
- ・就業中における事故が6件発生し、内2件については安全及びモラル・マナー面の教育不足が原因と考えられ、新年度における対応が必須となります。
- ・尚、剪定作業中の転落事故に関して、同一職種会員に向け事故状況、就業マナー安全教育等、書面による徹底を図りました。
- ・クレーム情報把握と課題解決に関して、対応スピードの向上を図りました。

(3) 適正就業への取組み

- ・適正就業に関する実態調査を実施し、課題点の抽出及び個別アクションを開始しました。（茅野エリア就業時間超過9件 ⇒ 課題解決6件、未解決3件）
- ・適正就業管理指標を月10日（週20時間）とし、入会説明及び各就業対応時における再徹底を図りました。
- ・新規事業拡大に向けた要望調査を行いました。（空き家管理等）
- ・高齢化及び就業体制安定化への対応として、プラスワン作戦を継続展開しました。
- ・就業上における緊急事態対応体制確立について、モデルケースによる対応検討及び周知・徹底、緊急時対応訓練を実施しました。

3. 安全委員会

会員の安全・安心な就業に向けて、安全意識の向上と事故防止策の検討を行い『事故ゼロ』を目標として活動を行いました。

令和3年度の当面目標を傷害事故1件以下、賠償事故5件以下として取り組み、発生事故は傷害事故4件、賠償事故2件の合計6件でした。

就業現場での安全パトロール実施、また、事故発生時の原因究明と再発防止策を検討し、対象となる会員向けに周知しました。また、飛び石事故防止対策として、飛散防止ネットの活用推進と、

より安全な草刈り刃を検討し斡旋販売を行いました。

その結果、飛び石事故件数は前年比で5件減少し、部分的ではありますが目標を達成することができました。しかしながら不注意等による傷害事故が増加し、今後は傷害事故の抑制に向けた検討も重要になっています。

(1)安全委員会の取組み

草刈り機による飛び石事故防止策の検討を行いました。

- 主な内容
- ①事故防止に向けたチラシを作成し、草刈り会員へ配布
 - ②石飛の少ない草刈り刃を斡旋し、活用推進と安全就業を図る
 - ③各事務所に備えてある飛散防止ネットの活用を周知
 - ④ナイロン刃による事故が多いので、住宅地及び道路近くでは使用しないよう安全意識の向上に努める

(2)就業現場のパトロールについて

7月～10月を「安全就業強化月間」と定め安全パトロールを実施しました。

- ・茅野地区：剪定及び草刈り
- ・富士見地区：草刈り
- ・原地区：剪定

安全な就業に向け、作業方法、取組み内容を確認し、各現場とも指摘事項はありませんでした。

(3)長野県シルバー連合会の指導パトロールについて

8月31日 茅野地区剪定就業先で安全・適正就業推進パトロールを実施しました。

- ・県シ連から事務局長、指導委員の2名が来場
- ※トリマー使用時の保護メガネ着用について指導があった

(4)安全標語について

本年度は27点の応募があり、長野県連合会佳作に1点を選出されました。

- ・3月理事会で厳正に審査し、優秀作品1点、佳作2点、安全委員会賞1点を選出

(5)事故発生状況と再発防止について

賠償事故2件、傷害事故4件の合計6件の事故が発生しました。

- ・賠償事故：草刈飛び石1件、ホイールローダーオイルエレメント破損1件
- ・傷害事故：4件（剪定1件、歩行時等の不注意3件）
- ・剪定就業中の傷害事故に関し、就業現場の確認と就業会員への聞き取りを行い、関係会員に『安全就業基準』を周知し、基準の順守と事故防止を再徹底した

(6)刈刃と防護ネットについて

草刈り機による飛び石事故削減に向け、以下の2点を重点に取り組みました。

- ・飛び石の少ない刈刃を草刈り就業会員に斡旋し、積極的な使用と安全就業を促進
- ・防護ネットの積極的な活用を促進

(7)県シ連開催の研修会や安全・適性就業推進大会について

- ・コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(8)安全就業ニュースの活用について(全シ協発行資料)

・事故状況、特に死亡事故、重篤事故の記載内容を理解し、パトロールの際に活用

◎令和3年度 「安全・適正就業対策推進の重点目標」

目標 “危険ゼロ”

◎安全標語

全シ協 安全就業統一スローガン

『いつまでも 働く喜び 無事故から』

◎長野県連合会 安全・適正就業標語入選

佳 作 『安全は 日々の基本の 繰り返し』 ……小池 幸夫

◎令和3年度茅野広域シルバー人材センター標語入選

優 秀 賞 『あのヒヤリ 忘れず今日も 安全作業』 ……五味 芳信

佳 作 『働ける 喜び奪う 事故とケガ』 ……倉澤 重美

佳 作 『もう一度 念には念の 安全チェック』 ……平林 祐一

安全委員会賞 『健康は、安全作業の、第一歩』 ……両角 直一

4. 広報委員会

(1)会報『八ヶ岳の風』 第71号を発行しました。

八ヶ岳の裾野に広がる茅野・富士見・原の広域シルバー会員相互が、吹き渡る風のように自由に連携できることを願って、会報第71号から題字「シルバー茅野広域」から新しく『八ヶ岳の風』に変更しました。

掲載内容は、定時総会の報告の他、行事報告、事務局からの連絡や案内等を掲載しました。コロナ禍で行事が縮小している中で、センター会員と会員の連携がはかれるように努めました。

(2)「八ヶ岳山麓だより」、第27・28・29号を発行しました。

コロナで、行事が縮小している中、皆さまにご協力いただき掲載記事の提供をいただきました。掲載内容は、安全就業促進の記事や、会員の健康づくりのサポートに向けた記事の掲載をしました。コロナ禍での案内、お知らせ、確認事項等を中心に、会員への情報発信に努めました。

(3)地域公共施設等への会報「八ヶ岳の風」の配置等を通じ、茅野広域シルバー人材センターのPR活動に努めました。

(4)「八ヶ岳の風」「八ヶ岳山麓だより」の編集方法を検討し、製作・印刷費用の見直しと共に、作業の効率化をはかり、印刷費用の削減を実現しました。